

日本老年行動科学会石川支部公開セミナー

と き : 平成20年12月7日(日)

13時20分～16時40分

ところ : 石川県社会福祉会館 4F 中ホール

講師 : 大川 一郎 氏 (筑波大学大学院 教授)

参加費 : 会員・学生 500円 / 非会員 1,000円

後援 : 北陸学院大学

プログラム

- | | | |
|-------------|------|--|
| 13:20～13:30 | 開会 | |
| 13:30～15:00 | 事例検討 | 報告者: グループホームこさか 槻 一毅氏
テーマ 「私にかまわないで」不穏、混乱、暴言のみられる認知症高齢者への支援 |
| 15:10～16:40 | 講演 | 講師: 大川 一郎氏
テーマ 「脳を鍛える: 音読・計算活動」の高齢者ケアへの活用
・ ・ 高齢者プロジェクトからの研究報告 ・ ・ |

大川先生のプロフィール・・・

筑波大学大学院博士課程満期退学、つくば国際大学産業社会学部助教授、立命館大学文学部教授を経て、現在、筑波大学大学院人間総合科学研究科(生涯発達科学専攻)教授、博士(心理学)、臨床心理士。専門は、老年臨床心理学、生涯発達心理学、心理テスト。日本老年行動科学会副会長、認知症ケア学会評議員、日本教育心理学会監事。著書に、『高齢者のこころ事典』(編集代表)中央法規、『事例集 高齢者のケア・認知症状と生活の障害』(編者)中法法規、エイジングの心理学(共著)北大路書房、『田中ビネー知能検査V』(共著)田研出版、『発達臨床教育相談マニュアルーアセスメントと支援の実際』(編者)川島書店、『発達臨床心理学の最前線』(編者)教育出版、他多数。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
<抄録>

私たちが主催している立命館大学高齢者プロジェクトでは、立ち上げ以来 7 年余に渡り、老人施設の高齢者や地域住民を対象に、継続的（週3回、数年）な「音読・計算」「コミュニケーション」による介入が、認知機能や日常生活上の機能にどのような効果があるのかを、心理的な視点から検討してきました。

そして、これまでの研究から、継続的な「音読・計算」活動には、日常生活に様々な波及的な効果を及ぼすことがわかってきました。

今回、その研究の一端を紹介し、「音読・計算」活動のみならず、継続的に行われる「活動」のもたらす意味（効用）について考えていきたいと思いをします。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
参加申込書（FAX用）

■ 所 属 _____

■ 参加者名 _____ 会員の有無（ ）

★会員の方は○をつけてください

■ 電話番号 _____

ファックス番号：076-280-3851

【お問い合わせ先】

〒920-1396

金沢市三小牛町イ11番地 北陸学院大学 真砂研究室

電話 076-280-3850